

ノ不取トハ全然虚言ニシテ其内面ニ實ニ勞働組合破壊ヲルヲ知ルテアル
 工場主ノ時々々年々七レ今回ノ更行爲ニ對シテハ断然トシテ及對スルト共ニ断乎トシテ應
 戦ク快行スルモノナリ

追而 本要求ニ對シテ昭和五年二月五日午前十二時迄ニ回答セラルヘシ
 昭和五年二月四日

関東合同労働組合代表 白鳥廣近
 従業員代表 久保貞一郎

別記(二)

大塚の町民諸君!

兄と楠川由藏親子の大悪党振りを!

後口内商工不景氣政策河トシク世の中を暗くし昨日今日と失業者が増え一方だ不景氣
 内商のやり口をまねたり良い言葉に人を苦しめるといふ身働者も首を切られ給り首をスパー
 スパーと切り放しするも、その中か暗くなればなり

現に此町内に何人か楠川由藏といふ奴も下下大馬鹿に鑄物工場を持つて職工の四十名
 も使てるが最近不景氣だと、さういふ日給り三割を値下しした職工はそれをわし不景氣だ
 と男へはこき日働う生活を節約して泣いて我慢してゐるといふか飽くまで惣勢形を楠
 川親子はわしとて四人の職工首を切り飛ばしと、その為の後の食道を奪つた、そんなとこ
 の去る三日に至つては亦々大馬鹿の職工首を其妻にハネた、王ウウウといふも、其時
 方働者も首を切るといふスパー腕を、さういふ方働者を考へぬ、救を懐き、さうけた銃果が四五
 十軒の家作に落ちたり、立派な住宅に、さういふ妻をかこつたりする金も、さういふ人だ、さういふ
 砂ろい事だ、今此町に不景氣に首を切られた職工の妻の苦難は、さういふ人だ、さういふ人
 生きて行くんだ、そんな大馬鹿な社会内政がある、そんな楠川親子は、さういふ大衆を、さういふ
 るは彼水楠川だ、さういふ楠川親子は、さういふ人だ、さういふ人だ、さういふ人だ、さういふ人だ、
 道徳が破壊者楠川親子をみろ! 大塚の町内に此奴を置きな、さういふ鬼畜は、さういふ町内を、
 さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、
 自分も此の町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、さういふ町内を、
 昭和五年二月五日

大島製作所労働組合(大塚町七二二三)
 関東合同労働組合本部